

新規上場申請のための有価証券報告書
(I の部) の訂正報告書

株式会社メンタルヘルステクノロジーズ

【表紙】

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 【提出書類】 | 新規上場申請のための有価証券報告書（Ⅰの部）の訂正報告書 |
| 【提出先】 | 株式会社東京証券取引所 代表取締役社長 山道 裕己 殿 |
| 【提出日】 | 2022年3月8日 |
| 【会社名】 | 株式会社メンタルヘルステクノロジーズ |
| 【英訳名】 | Mental Health Technologies Co.,Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 刀禰 真之介 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都港区赤坂3-16-11 東海赤坂ビル4階 |
| 【電話番号】 | 03-6277-6595 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理担当 山田 真弘 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都港区赤坂3-16-11 東海赤坂ビル4階 |
| 【電話番号】 | 03-6277-6595 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理担当 山田 真弘 |

1 【新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）の訂正報告書の提出理由】

2022年2月18日付をもって提出した新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）の記載事項のうち、「第一部 企業情報 第2 事業の状況 3 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」の記載内容の一部を訂正するため、新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

| | |
|--|----|
| 第一部 企業情報 | 1頁 |
| 第2 事業の状況 | 1 |
| 3 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 | 1 |

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_____ 罫で示してあります。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

3【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績等の状況の概要

② 経営成績の状況

第10期連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

c. ITソリューション事業

(訂正前)

当連結会計年度においては、Webマーケティング支援サービスに注力することで、大口の取引先を獲得する等、売上高全体に占める割合が増加しております。

この結果、当連結会計年度における当セグメントの業績は、売上高88,016千円（前期比19.1%増）、セグメント損失4,872千円（前連結会計年度はセグメント利益19,025千円）となりました。

(訂正後)

当連結会計年度においては、Webマーケティング支援サービスに注力することで、大口の取引先を獲得する等、売上高が増加しております。

この結果、当連結会計年度における当セグメントの業績は、売上高88,016千円（前期比19.1%増）、セグメント損失4,872千円（前連結会計年度はセグメント利益19,025千円）となりました。

第11期第3四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年9月30日）

c. デジタルマーケティング事業

(訂正前)

当第3四半期連結累計期間においては、Webマーケティング支援サービスに注力することで、大口の取引先を獲得する等、当社グループ内の売上高全体に占める割合が増加しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの業績は、売上高89,007千円、セグメント利益12,465千円となりました。

(訂正後)

当第3四半期連結累計期間においては、Webマーケティング支援サービスに注力することで、大口の取引先を獲得する等、売上高が増加しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの業績は、売上高89,007千円、セグメント利益12,465千円となりました。